

## 4. ヘリサインの整備



### (1)趣旨

有事において、上空から位置情報を把握するため、高速道路の料金所、休憩施設にヘリサインを整備する。

### (2)整備状況



《東名高速道路・豊田IC》



《東名高速道路・東名三好IC》



《名神高速道路・養老SA》



《中央自動車道・伊那IC》



《東海北陸自動車道・郡上八幡IC》



《東海北陸自動車道・一宮西IC》 6

## ～DMATとの合同訓練①～



### 【参集受付訓練概要】

●日時：2013. 3. 2(土) 11:00～15:00 (受付 13:00～15:00)

●場所：尼御前SA(下り) 緑陰駐車場内

●参加人員：DMAT (約25チーム)  
NEXCO グループ9名

### ●訓練内容：

#### 《NEXCO》

DMATの要請に基づき進出拠点における防災備品の設営等支援を行う

- ・ テントの設営、テーブル・イス・ホワイトボード等の設置
- ・ 自家発電の稼働、エリア内交通整理 等

#### 《DMAT》

米原方面(愛知・三重・静岡・福井)から参集するDMAT(25チーム程度)の参集受付をインターネット登録で行い、活動場所の指示を発する参集受付業務

●その他 今回の連携訓練により、必要備品等の把握、課題点を抽出し、今後検討





尼御前SA(下) 参集状況



参集者の受付状況



仮設テントにおける参集者への状況説明



仮設テント内

## ～DMATとの合同訓練②～

### (1) 訓練の概要

愛知県を南海トラフ巨大地震の被災地として想定し、全国から参集した災害派遣医療チーム(DMAT)が県内の災害拠点病院と連携し、被災地で対応しきれない負傷者を、医療機関から広域医療搬送拠点である県営名古屋空港を経由して、仙台空港、東京国際空港、岐阜基地へ航空機等で搬送し、そこから域外の災害拠点病院まで患者搬送を行う実動訓練を実施する。

### (2) 目的

大規模災害時における都道府県域を超えた医療救護を目的として、広域医療搬送に関する総合的な実動訓練を実施することにより、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、関係機関相互の協力の円滑化を図る。

### (3) 実施日

平成25年8月31日(土) 7:00～17:00

### (4) 訓練場所(参集拠点)

- ①伊勢湾岸自動車道豊田東IC(本部:豊田HSC会議室)
- ②新名神高速道路土山SA(本部:雪氷詰所)

### (5) 訓練内容

- ①豊田東IC  
域内医療搬送訓練、愛知県警察本部による連携訓練
- ②土山SA  
域内医療搬送訓練

## ～DMATとの合同訓練②～



### (6)参加機関

#### ①豊田東IC

県外DMAT(長野県10、群馬県4、埼玉県2、山梨県2、新潟県4 計22チーム)

愛知県警察本部

豊田保全・サービスセンター

#### ②土山SA

県外DMAT(滋賀県8、京都府6、兵庫県4 計18チーム)

桑名保全・サービスセンター

### (7)スケジュール

#### ①豊田東IC

・8:00頃DMATによる参集拠点(本部)立上げ

・8:30頃長野県DMAT到着

・9:00頃山梨・関東DMAT到着

・10:00頃新潟県DMAT到着

#### ②土山SA

・8:00頃DMATによる参集拠点(本部)立上げ

・8:30頃滋賀県DMAT到着、順次出発

・9:00頃京都府DMAT到着、順次出発

・10:00頃兵庫県DMAT到着、順次出発



8

## 伊勢湾岸道 豊田東IC DMAT実動訓練実施状況 2013.8.31



現地本部設置状況(豊田HSC 会議室)



愛知県警現地本部設置状況(豊田HSC 会議室)



DMATチーム参集状況(豊田東IC 内)



愛知県警緊急通行車両標章交付訓練状況

9



現地本部設置状況(土山SA 雪氷詰所)



DMATチーム参集状況(土山SA 雪氷基地)

## ～休憩施設における防災訓練～

### 静岡県航空受援訓練

- ◆ 訓練日 2013年2月5日
- ◆ 目的 孤立地域への救出救助活動を想定した航空機の離発着訓練
- ◆ 参加機関 静岡県、自衛隊(陸)、海上保安庁、在日米軍等



ヘリ誘導(浜松SA)



自衛隊ヘリ離発着(浜松SA)



米軍ヘリ離発着(浜松SA)



警察ヘリ離発着(駿河湾沼津SA)

### 南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域防災訓練

- ◆ 訓練日 2013年2月7日
- ◆ 目的 広域防災拠点等を活用した緊急支援物資の輸送、支援部隊の集結訓練
- ◆ 参加機関 国土交通省、内閣府等の行政及びライフライン機関等



道路啓開車両集結(浜松SA)

# 平成25年度 広域搬送訓練における 日本赤十字社業務用無線活用について

愛知県  
三重県  
和歌山県

## 【赤十字無線の特色について】

- 他の防災機関が持たない高出力の機器及び陸上移動局を有しており、全国的な組織であるため基地局が点存している。
- この特色とさらなる充実を図るため、現有の資機材や車載機を有効活用してその通信網の充実と確証するため8月31日実施の平成25年度広域医療搬送訓練の被災地県内エリアにおいて無線通信網の確立を試みた。

## 無線通信の補助として使用し、通信不可能 エリアを補完した機材



dERU無線機



グランドプレーンアンテナと  
高周波ケーブル・延長マイク  
コードの組み合わせ



通信指令車

平成25年度広域搬送訓練  
日本赤十字社業務用無線活用について

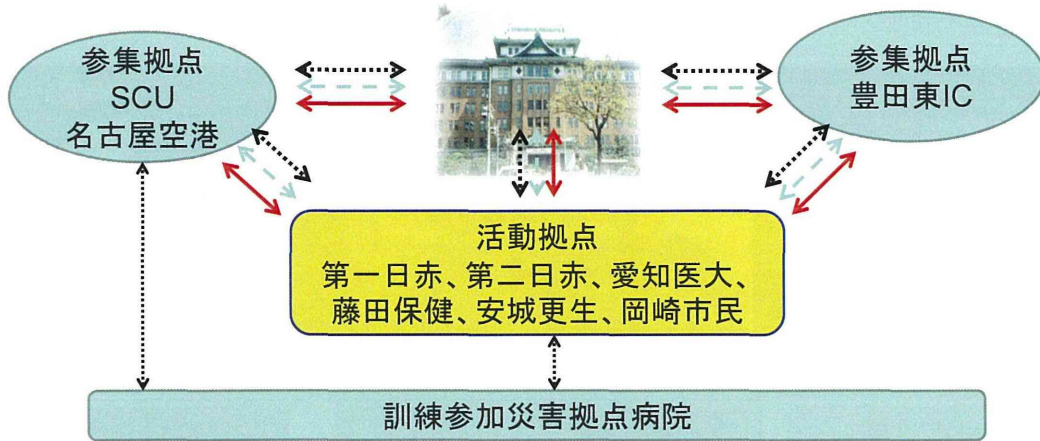
# 愛知県

**【愛知県での訓練通信設定】**

使用不可 ⇒ 携帯・固定電話、院内サーバー

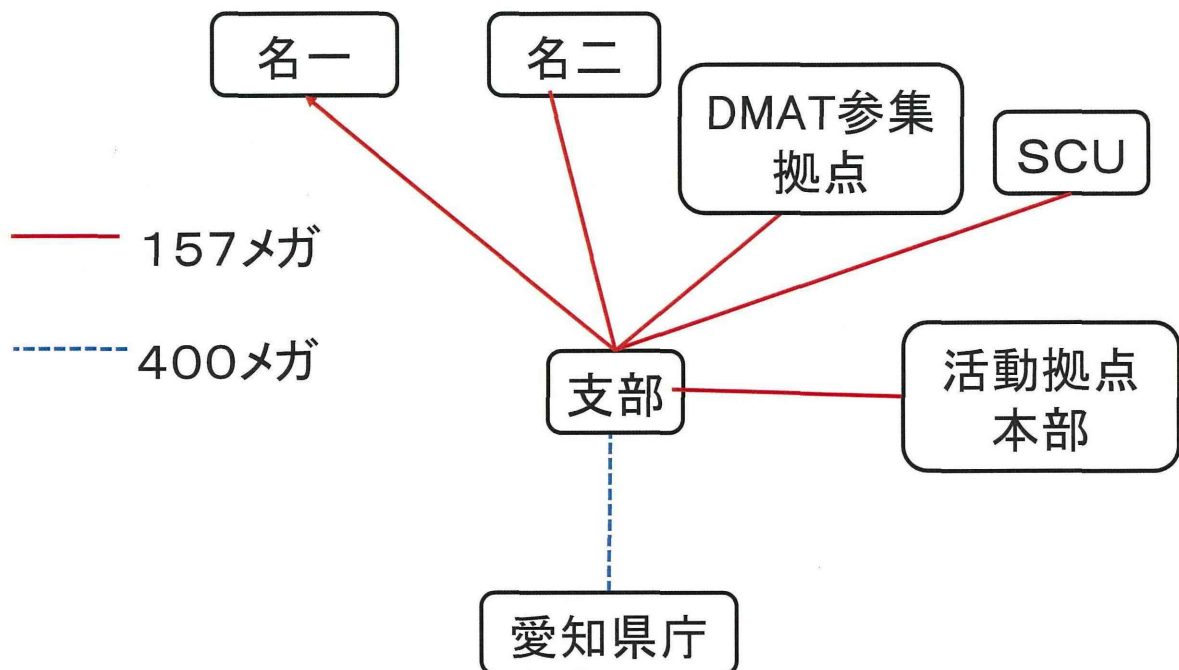
使用可 ⇒ データー通信カード

名古屋空港にあっては IP star のwifi接続可能



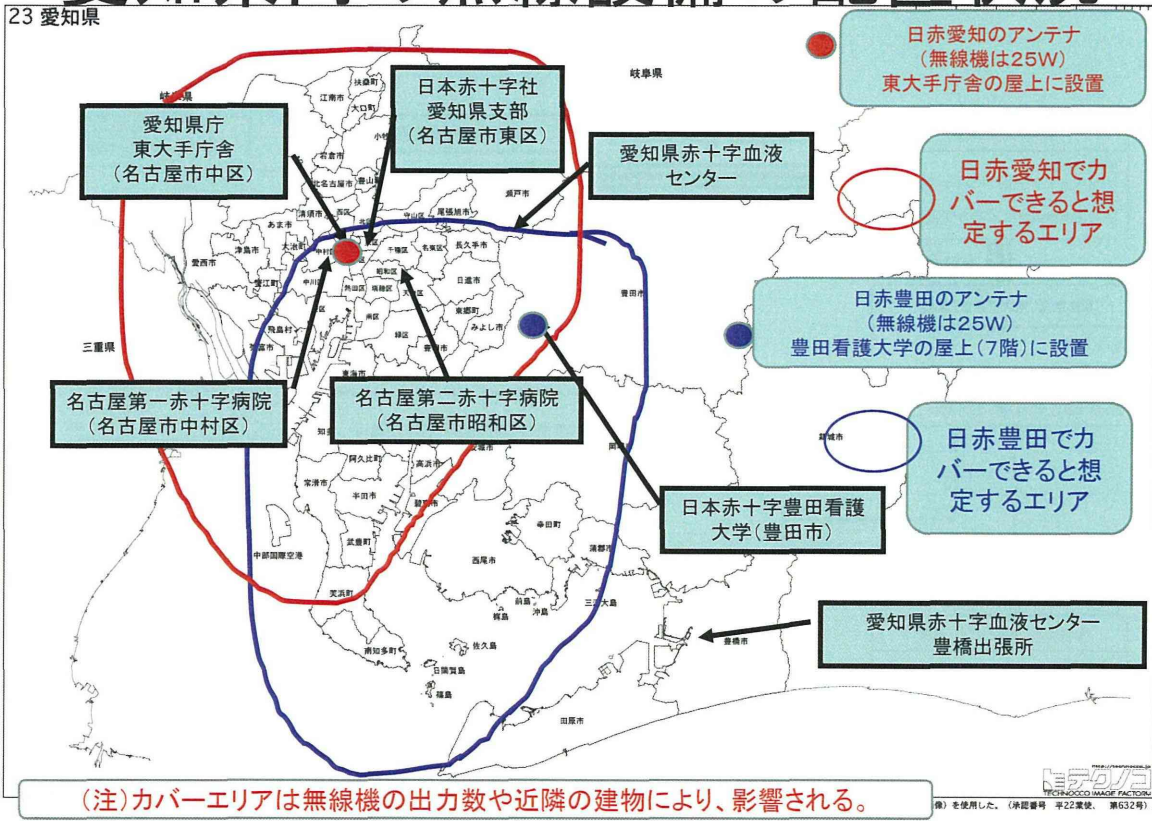
印	無線種別	設置場所
← - - - - - →	IP無線	各本部
← - - - - - →	日赤無線	日赤チームが配置された各本部
← - - - - - →	県医師会無線、衛星携帯電話	各本部、各災害拠点病院

**赤十字無線の使用系統**

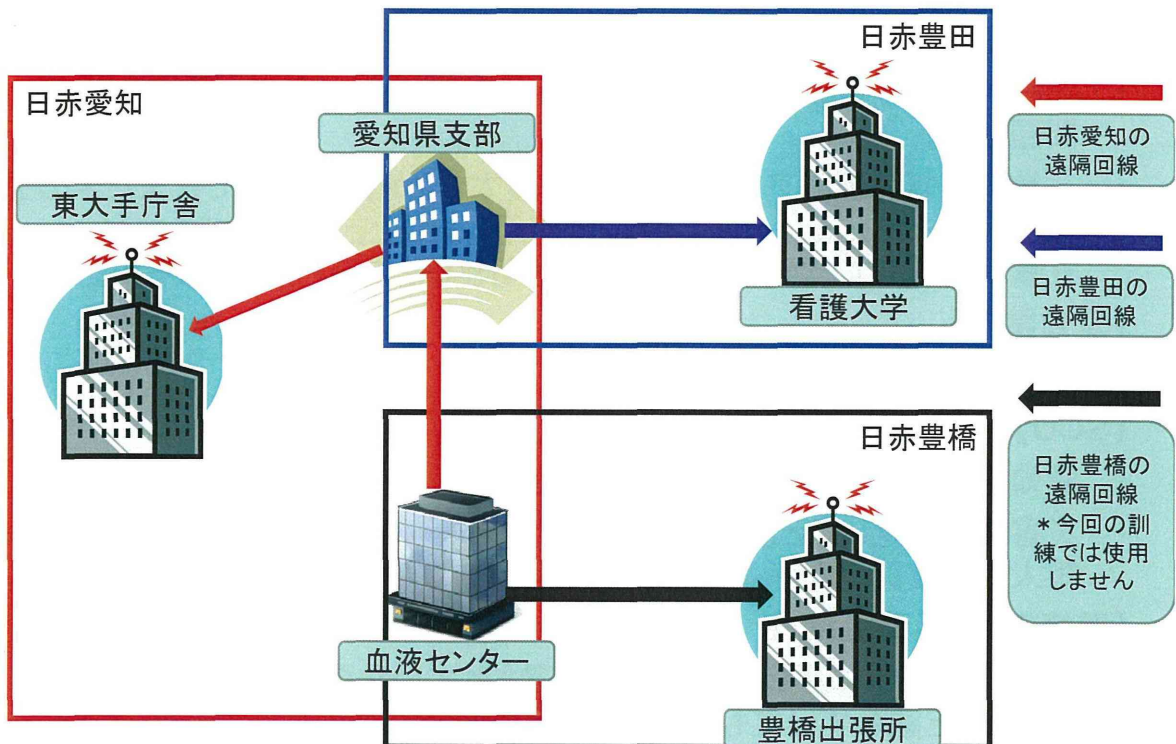


# 愛知県内の無線設備の配置状況

23 愛知県

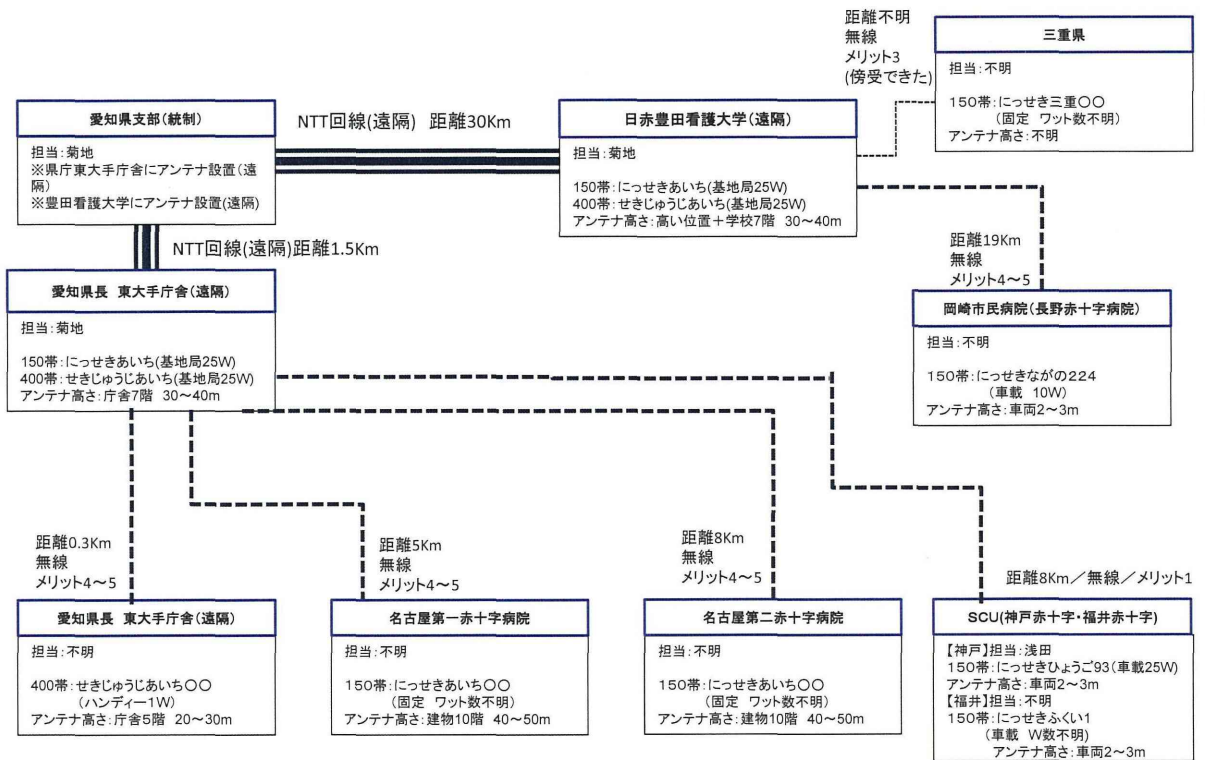


# 日赤無線 157メガの枠組み





## 愛知県無線配置(通信試験実施のみ)



## 訓練結果(本部別)

### 【愛知県支部】

- 遠隔アンテナで高位置に設置してあるので、名一、名二、県庁上位階は問題ない。
- 三重の無線を遠隔アンテナ(豊田看護大学)が拾えたので県またぎの通信は可能と考える。しかし、県内で使用したいときに通信できなかった(三重が通信していた)。※共通派による良いところと悪いところがある。

### 【愛知県庁】

- 日赤無線活用されず。

### 【SCU】

- 愛知県支部からは通信できなかった。
- 災害時を想定したときに、SCUに入ったチームのサポートするための無線人員を被災地が派遣するのは不可能。

### 【岡崎市民(活動拠点)】

- 豊田看護大学に遠隔アンテナが設置されていたので、愛知県支部から50kmほど離れていても問題なく通信できる。

## 訓練結果と課題

- ・ 通信支障がない環境では無線使用習熟した日赤隊員が使用したため円滑な通信が図られた。
- ・ 施設に設置してある固定式無線の場所と、本部の場所が別の施設もあり、使用できないことがあった。
- ・ 本部が赤十字関連施設でない場合は、固定式無線がない為、赤十字無線を持参するDMATが活動する場所との情報共有に限られ、持参した無線の出力から使用できない地域があった。
- ・ 実災害時には当該被災地県内入りした県外の無線コールサインが不明であることが予測される。よって、被災地の基地局等に配慮して、活動していること(県内に入ったこと)を基地局に一報する必要がある。

平成25年度広域搬送訓練  
日本赤十字社業務用無線活用について

三重県